

令和3年度 施策・基本事業マネジメントシート（令和2年度実績に基づく評価）

作成日 令和 3 年 8 月 6 日

政策体系	基本目標名	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	施策主管課長	スポーツ立市推進課
	政策名	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		
	施策名	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		
施策関係課	健康増進課、国体準備課、都市整備課、学校管理課、学校教育課、生涯学習課			村山 和之	

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	H30	R1	R2	成果指標設定の考え方
	①市民 ②市内のスポーツ選手及びスポーツ団体 ③スポーツ施設	①人口 ②市内のスポーツ大会に参加する選手 ③市有スポーツ施設 ④	人 人 施設	119,348 12,765 42	118,450 11,795 42	117,706 11,935 42	①一人1スポーツ・レクリエーションは生涯スポーツの目指す姿であり、市民のスポーツへの取組状況を把握する指標として採用した。 ②スポーツレベルの底上げと選手の発掘・育成強化に努めた結果が、競技会への出場機会を得ることにつながるため、この成果指標を採用した。 ③スポーツをしたいという市民の欲求に応え、目的に叶うスポーツ環境を整備することが必要であり、その環境づくりの目安にこの成果指標を採用した。			
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標（意図の達成度を表す指標）	区分	単位	H30	R1		R2	R3	成果指標の取得方法
	①スポーツ・レクリエーションに親しんでいる。 ②国体をはじめとしたレベルの高い競技会で活躍できる選手が増える。 ③スポーツ施設を安全に利用できる状態にする。	①週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合 ②関東、全国大会等に出場する個人と団体 ③安全に使用できる市有スポーツ施設数 ④ ⑤	目標実績 目標実績 目標実績 目標実績 目標実績	% 組 数	% 組 数	46.0 41.7 47.0 41.5 48.0 40.9	46.0 41.7 150 147 42 41	47.0 41.5 155 92 42 28	48.0 40.9 160 23 42 32	

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
生涯スポーツの推進	①市民 ②スポーツ・レクリエーション団体 ③指導者	①スポーツ・レクリエーションに親んでもらう。 ②団体活動の充実を図る。 ③指導力の向上を図る。	①週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	目標実績	%	46.0 41.7	47.0 41.5	48.0 40.9	50.0	スポーツ施設の整備と運営	①市有スポーツ施設 ②指定管理者	①良好な状態を維持する。 ②施設の利用促進を図る。	①安全に使用できる市有スポーツ施設数	目標実績	数	42 41	42 28	42 32	42
			②総合型地域スポーツクラブの会員数	目標実績	人	3,400 3,320	3,450 3,160	3,500 2,778	3,550				②市有スポーツ施設の利用者数	目標実績	人	520,000 613,713	521,000 447,425	522,000 159,531	523,000
			③生涯スポーツ関係公認資格者数	目標実績	人	300 330	310 348	320 300	330				③	目標実績					
競技スポーツの推進	①競技スポーツ選手 ②競技スポーツの指導者	①スポーツ選手としての能力の向上を図る。 ②スポーツ指導者としての指導力の向上を図る。	①関東、全国大会等に出場する個人と団体	目標実績	組	150 147	155 92	160 12	165				①	目標実績					
			②日本スポーツ協会が公認する競技力向上指導者数	目標実績	人	16 14	19 16	22 16	25				②	目標実績					
			③	目標実績									③	目標実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和2年度施策の取組方針				施策の取組方針・成果指標達成状況			
	・市民のスポーツ・レクリエーションに対する関心を高めるために、関連情報の発信やスポーツ教室・イベント等を実施するとともに、スポーツ・レクリエーション活動を支援する。 ・アスリート育成プランを推進し、2022年のとちぎ国体に向けた選手の育成及び指導者の資質向上を図る。				取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成			
基本事業	生涯スポーツの推進	・スポーツ教室やスポーツ・レクリエーション等に親しむ事業をスポーツ関係団体や指定管理者等の協力のもと、実施するための機会を提供するとともに市民の参加を促進する。	取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	基本事業名 スポーツ施設の整備と運営	・とちぎ国体の開催に向けた施設整備工事を着実に進めるとともに、指定管理者と連携しスポーツ施設の点検等に注力し事故防止に努め、施設利用促進を図る。	取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成
	競技スポーツの推進	・佐野市アスリート育成プランに基づき、専門指導者による基礎とトレーニングや強化クリニックを継続的に実施し、競技力水準の向上を目的に選手育成を図るとともに、指導方法や指導の視点等の指導技術の向上を図る。	取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成	成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成	基本事業名	・基礎トレーニング、強化クリニック事業は、コロナ禍により、一時中断を強いられたが、新型コロナウィルス感染症対策を行いながら事業を実施した。 ・コロナ禍であり新たな人材の掘り起しができないこと、事業が3年目で硬直化していることもあり、参加者が減少してしまっ。	取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	・平成23年6月、スポーツ振興法が全面改正され、国のスポーツ基本計画では成人の週1回以上のスポーツ実施率は65%を目標とするとされた。 ・スポーツ立市を掲げていることから、市議会では、市民スポーツを更に振興する施策の実施とスポーツ施設の改善を求めている。 ・令和4年に栃木国体があり、本市はラグビーの全種目とバレーボールの成年男子を開催する。開催施設の整備と開催機運の醸成が求められている。 ・台風第19号と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、さのマラソン、大澤駅伝等の中止、スポーツ施設の供用を中止する等、スポーツを実施する環境が大きく損なわれている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな生活様式として新しいスポーツスタイルの定着が求められる。	市民	事業所	行政

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
・コロナ禍により、本市のみならず全国的にスポーツ大会・イベント等の全面的な開催中止となり、スポーツ機会が大きく損なわれた。 ・スポーツ教室やジュニアアスリート育成事業等のスケジュールは大きく崩れたが、出来るタイミングでの実施に努めた。 ・市有スポーツ施設の運用については、緊急事態宣言時等を休止せざるを得ない時期もあったが、各施設で感染症対策の徹底に取組むとともに、利用者に対し利用前後の健康チェック、利用時の3密対策の徹底を促した。また、指定管理者施設については、月次モニタリング等により状況を確認した。 ・スポーツ施設の整備・改修については、国体施設整備工事のほか、施設の老朽化に対応に必要な維持修繕工事を実施し、市民の利便性の向上に努めた。 ・コロナ禍により、スポーツ施設の利用率が激減した。 ・施策コストは、前年と比較し138,679千円の増、前年比130%となった。主な要因は国体開催施設工事（運動広場工事）事業の増である。	【令和3年度で解決する課題】 ・コロナ禍に対応したスポーツ施設の提供とスポーツ大会・イベントの実施 ・さのマラソン大会の実施判断等と方向性 ・国体、障スポの会場及び周辺施設等の整備 ・佐野市スポーツ立市推進基本計画の策定 【令和4年度以降にも引き継がれる課題】 ①安全安心なスポーツ環境の実現 ②国体、障スポの開催に向けた準備、市民総参加による本市の魅力の発信 ③老朽化したスポーツ施設の計画的な修繕 【令和4年度重点課題】 ④国体、障スポの開催 ⑤スポーツ施設整備計画の策定	①計画的な維持管理修繕と万全な感染症対策を実施し、常に安全・安心なスポーツ環境を提供する。感染症対策は、市民、競技団体等に協力を呼びかける。 ②国体については、先例を参考に、県、競技団体と連携し準備する。 ③「運動公園施設長寿命化計画」等に基づき、財源確保、民間手法の導入等も考慮した実施計画を策定し、実施する。 ④コロナ禍におけるスポーツ実施について、国等のガイドライン等を基に、指定管理者と連携して必要な対策を行う。市民、競技団体へ新たなスタイルの実施を要請する。 ⑤国体施設のリハーサル大会を踏まえ、本大会に向けて必要な調整を行う。大会開催に必要な施設、備品調達等を最終確認し、本大会に備える。